

相談から解決までの流れ

相談者

1

相談

電話、メール、手紙による相談や匿名での相談も可能

相談員

★相談員だけでなく、身近な教職員に相談しても構いません。

2

ハラスメントの報告
解決策検討の依頼

ハラスメント防止委員会

3

調査

4

対応措置の決定

通知

加害者にハラスメントがあったことを伝え、問題の解決を図る。

調停

相談者と加害者の話し合いによって解決を図る。

環境改善

学習・就業環境を改善することによって解決を図る。

注意・処罰

加害者への注意、懲戒などの処罰によって解決を図る。

5

状態の改善・解決

※守秘義務について

相談員は、相談者の許可なく、相談内容を記録・報告することはありません。安心してご相談ください。

相談に関するQ&A

Q

ハラスメントの被害にあった時はどうしたら良いのですか？

A

まず、ハラスメントの記録をつけることが大切です。一人で抱え込まず、友達や相談員に相談しましょう。

Q

「ハラスメント相談員」はどなたですか？

A

尚絅学院のHPや学生手帳に相談員の氏名と連絡先を掲載しています。

Q

相談に行くのをためらっています。

A

相談員はあなたの安全とプライバシーの保護を第一に考え、あなたの希望に沿わない対応は決してとりません。匿名でも構いませんので、ぜひ相談してください。

ハラスメント相談窓口

相談員または全教職員

TEL 022-381-3438

(学生相談室)



学生用

STOP! HARASSMENT

キャンパスハラスメント
防止に向けて

尚絅学院大学は、学生の皆さんが安心して学習や研究に励めるよう環境を整えることを責務と考えています。

もしも、ハラスメントではないかと感じたり、被害を受けた場合はすぐに相談してください。あなたの秘密を厳守し、意思を尊重しながら、最も良い解決方法を考えていきます。



学校法人尚絅学院

ハラスメントとは??

ハラスメントとは、たとえ本人が気軽な気持ちで行った行為であっても、相手に不快感、嫌悪感、威圧感、不安感などを生じさせ、学習意欲を損ねたり、大学に行くのが苦痛になるような被害を与える人権侵害行為のことをいいます。

主なものとして、以下の4つが挙げられます。

セクシャル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言動のことで、それによって相手に不利益や不快感、脅威を与え、教育環境等を悪化させる不適切な言動。



- 卑猥な冗談を言われたり、恋人の有無について質問され、不快である。
- スリーサイズを聞かれるなど、容姿や身体的なことを話題にされる。
- 食事やデートにしつこく誘われて困っている。



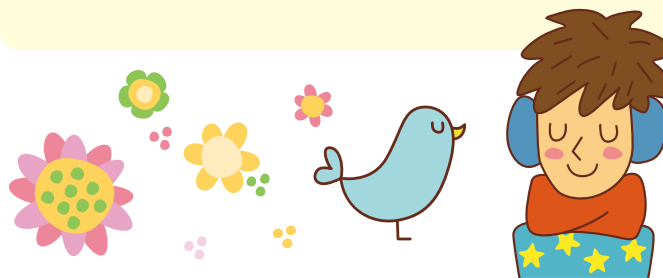
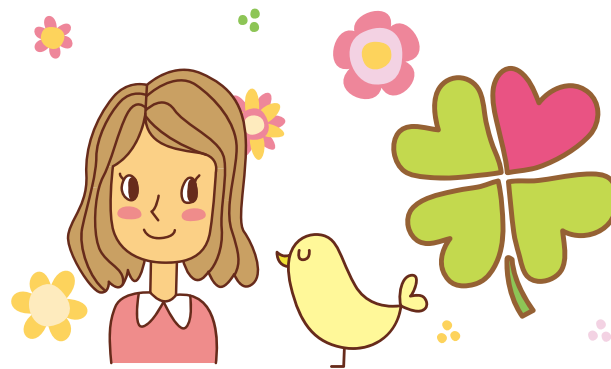
- 指導教員からバカにされるようなことを言われ、精神的苦痛を感じている。
- 正当ではない理由で「単位を与えない」と教員に言われ、不安を感じる。
- 放任主義だといひ、指導教員が論文指導やアドバイスをしてくれなくて困っている。



- 無視されたり、仲間外れにされる。
- プライベートなことに過度に立ち入れられる。
- 酒席などの付き合いを強要されて困っている。

その他のハラスメント

その他、飲酒を強要するアルコール・ハラスメントやネット上に名指して書き込む行為なども問題になっています。



ハラスメントをしないために・・・

- お互いの人格を尊重しましょう。
- 性に関する言動は受け止め方に差異があります。相手の気持ちをよく考えて行動しましょう。
- 相手が嫌がっていることが分かったら、同じ言動を繰り返さないようにしましょう。
- 相手が抗議しないからといって「嫌がっていない」と勝手に思い込むのはやめましょう。

ハラスメントだと感じたら

1

一人で悩まないで！
我慢しないで！

まずは身近で信頼できる友達や先生、職員に相談してみましょう。

2

相手に「嫌だ」とはっきり
意志表示しよう！

もしできるなら、相手に「嫌だ」「不快に思っている」と気持ちを伝えましょう。

3

記録をとっておこう！

ハラスメントを受けた日時、場所、状況等の記録が重要な証拠になることがあります。できるだけ詳しく記録しておきましょう。

4

相談しよう！

本学にはハラスメント相談員がいます。どんな小さなことでも相談してください。相談員はあなたの求めていることを尊重し、相談内容などのプライバシーを守ります。

友達がハラスメントを受けていたら・・・

- * 友達の話をよく聞いて支えになってあげましょう。
- * 加害者に注意するなどして助けてあげましょう。
- * 解決が難しい場合は、相談窓口に同行してあげましょう。